

中学年分科会

第4学年

走・跳の運動 「みんなでレベルアップ！高跳び」



目指す児童像

- ・自らの課題の解決に向けて運動する児童
- ・友達と協力して学び、自分の考えや思いを伝え合う児童

運動の特性

- ・走ったり、跳び越えたりする楽しさや喜びに触れることができる運動
- ・友達と競い合う楽しさを味わい、体を巧みに操作しながら走る・跳ぶなどの動きを身に付けることができる運動

インクルーシブ型授業づくりの手だて

主体性を引き出す目標設定

- ・ゴム紐を使用して、ポイントごとに3つの場を作り、グループとしての得点を目標とする。

ICTの活用

- ・学習カードや掲示物を提示して児童がお互いの振り返りを見合えるようにする。

協働的な学びを実現するためのグループ編成

- ・トリオ学習を取り入れ、3人グループを編成する。

成果（○）と課題（△）

- 合計点を競わせたことで、チームで高め合おうという意欲につながった。
- ポイントの掲示や友達の振り返りを見ることで、協働的に学ぶことができた。
- △グループ間で役割分担に差が見られ、事前指導が必要であった。

交流及び共同学習でのインクルーシブ型授業づくり

交流及び共同学習における授業づくりの考え方

- ・学校生活支援シート、個別指導計画における一人一人の個別の目標を確認する。

学習段階や配慮事項が分かる交流児童資料の作成

- ・「誰もが楽しめたか」という視点での振り返りを行う。

授業実践

学習グループの編成

高学年分科会の考える「インクルーシブ型授業」

- ★運動が得意な子でも苦手な子でも取り組める内容である「にしず運動図鑑」を作成すること
- ★通常の学級と特別支援学級の児童が、直接話し合ったり確かめ合ったりする機会を増やすこと

運動の特性「楽しい運動」を児童に明示する

交流単元決定

目標設定

学習内容の焦点化

場の設定

ICTの活用

グループ編成